

お知らせ

記者発表資料
配布日

令和8年4月10日

■同時発表先：山口県政記者会、山口県政記者クラブ、山口県政滝町記者クラブ

周南市と海上輸送による災害支援協定を締結します ～災害対応のための「命のみなとネットワーク」を形成～

国土交通省では、災害時の陸路寸断等を想定し、“みなと”の機能を最大限活用した災害対応のための物流・人流ネットワークを「命のみなとネットワーク」と名付け、各地域で、防災訓練の実施などネットワーク形成に向けた取組を進めています（参考資料）。

中国地方整備局宇部港湾・空港整備事務所と周南市は、離島で災害が発生した場合などに、「みなと」を活用した海上輸送による救援物資や人員輸送などの災害支援を円滑に行うため、中国地方整備局管内で初めて「災害時等における海上輸送体制の支援に関する協定」を令和8年4月16日に締結します。

周南市との協定締結式を下記のとおり開催します。

記

- 日時： 令和8年4月16日（木） 14:00～
- 場所： 周南市役所4階 庁議室

<問い合わせ先>

国土交通省 中国地方整備局 宇部港湾・空港整備事務所

副所長 古藤 順一 0834-31-0409

保全課長 濱野 吉章 0836-37-6700

事務所HP：<https://www.pa.cgr.mlit.go.jp/ube/>



- 近年、気候変動の影響により、これまでに経験したことのない豪雨による洪水や土砂災害等の気象災害が多く発生。
- 陸路が寸断し孤立化した被災地において、緊急物資や救援部隊、被災者等の海上輸送の事例が増えつつある。
- こうした状況を踏まえ、「みなと」の機能を最大限活用した災害対応のための物流・人流ネットワークを「命のみなとネットワーク」と名付け、各地域で、防災訓練の実施などネットワーク形成に向けた取組を進めていく。

「命のみなとネットワーク」の主な機能

【支援物資輸送拠点】



H30年7月豪雨時の物資輸送
(広島県中田港)

【被災者の救援輸送拠点】



R3年8月大雨で孤立した地域で
住民輸送を実施 (青森県風間浦村)

【生活支援拠点】



H28年熊本地震発生後、官公庁船から
市民への給水を実施 (熊本県熊本港)

「命のみなとネットワーク」形成に向けた取組

【国土交通省・市町村等による防災訓練の実施】

“みなと”を活用した物資輸送や被災者輸送等の防災訓練を定期的を実施。



R3年10月に浜名港で実施した、船舶を活用した緊急物資輸送・被災者輸送訓練

【「命のみなとネットワーク」の形成に向けて ～ “みなと” を活用した災害支援事例集ver1～の作成】

“みなと”を活用した災害対応支援を行った過去事例をまとめたもの。



<主な特徴>

- 海岸から20海里（37km）以内を航行可能
（→ 四国や九州等へも航行可能）
- 最大速力 34.86ノット（時速65km）
- 名前は徳山下松港内に浮かぶ「大津島」から

<用途>

- 平常時：工事監督、施設点検 等
- 災害時：被災施設点検、災害支援物資輸送
航路啓開に係る業務支援 等